くみあいNEWS

第１５３２３号
2023年6月29日（木）
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区（本部）（54）－3590
堺地区　652990／海南地区（54）－5555

第53期 第24回中央委員会報告

【日時】6月28日(水)17時15分～18時30分【出欠】出席82名 委任17名 欠席0名/99名
【議長】内匠屋　議長

１．報告事項

（１）上部団体会議報告
・第２８回中央執行委員会報告
・中央労使協議報告
5/31 労使協議会「仕事と生活の調和の取れた働き方（ワーク・ライフ・バランス）について」
5/31 団体交渉「２０２３年夏期一時金支給要綱 別紙について」
5/31 事務説明「２０２３年夏期一時金支給率および基準額の算定について」
6/ 9 経営委員会「２０２３年度上期定例経営委員会」
6/14 経営委員会「２０２３年度７月１日付組織改正について」
6/22 臨時経営委員会・労使協議会「瀬戸内製鉄所阪神地区の設備休止に伴う配転等について（その２）」
6/22 事務説明「積立年金保険制度における２０２２年度の配当率等について」

（２）箇所労使協議報告
・6/28 経営委員会「２０２３年度上期経営委員会」
・6/28 経営委員会「７月度生産計画について」
・6/28 労使協議会「２０２３年度２／四期要人員計画について」
・6/28 経営委員会・労使協議会「海南冷間製管工場における一部作業応援について（その２）」
・6/28 経営委員会「２０２３年７月１日付組織改正について」

（３）日本製鉄労連「第１２回中央委員会」および「総括討論集会」報告
（４）２０２３年度和歌山労組安全研修会報告
（５）第５３期　第８回専従者給与審議委員会報告

２．協議事項

（１）ＮＳＧＲカレンダー作成に伴う安全ポスターおよび安全標語の募集について
（２）基幹労連「第１０回個別賃金実態調査」について
（３）「日本製鉄和歌山の森」下草刈り実施について

３．審議事項

（１）和歌山県労働者共済生活協同組合「第６６回通常総代会」および
こくみん共済 coop 和歌山推進本部「第６回代表者会議」対策に関する件（案）

４．その他

（１）７月度日程について

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

報告事項５件、異議なく承認
協議事項３件、審議事項１件
満場一致で可決・決定

第２４回　中央委員会 組合長挨拶


山本組合長

中央委員の皆様、ご安全に。
本日の委員会、多くの議事がありましたが真摯にご対応頂き、お疲れ様でした。
2023 年も折り返しのタイミングになりましたので、日頃のお礼と今後の課題等について申し上げたいと思います。

まずもって、新型コロナウイルスの位置付けが 5 月 8 日から第 5 類感染症になり、和歌山労組の活動も従前のスタイルに戻しながら組織の活性化を図っているところですが、これまでの間、会社の方針も踏まえながら一定の制約を設けて会社生活ならびに組合活動にご尽力頂きましたこと、心から感謝申し上げる次第です。

中でも、第 20 回統一地方選挙では和歌山県議会議員、堺市議会議員、和歌山市議会議員それぞれの選挙において、和歌山労組推薦候補者である浦口氏、木畑氏、清末氏が当選を果たされ、日々議員活動に邁進されております。とりわけ清末和歌山市議におかれては、5 月 1 日にご勇退されました寒川前市議の後継者として、新人かつ組織内議員の重責をひしひしと感じながら、組合員の皆様にご支援頂いた恩に報いたいとの思いで必死に頑張ってくれています。
御三方は我々が取り組む政策実現活動の大事なパートナーとして、働くの者の代弁者として、地域の発展･活性化に向けてご活躍されますよう祈念するとともに組合員皆様の変わらぬご支援をお願い致します。

さて、今期も残すところ 2 ヶ月余りとなり、任期満了に伴う第 54 期組合役員選挙が始まります。30 日の No.1 告示を皮切りに、執行部･支部･青年女性部の立候補受付を経て 9 日間の選挙運動を展開します。
労働組合は、労働者による自主的･民主的な組織運営によって雇用の安定、労働条件の維持･改善、組合員の社会的･経済的地位の向上をめざす団体であり、その役員を我々の代表として選出する選挙が不可欠です。全組合員の団結力をもって会社組織と向き合い、真の幸福を追求する労働組合の役員選挙の重要性を、あらためて認識･理解するとともに来るべき投票に責任ある一票を投じて頂きますよう、よろしくお願い致します。 ところで、7 月から労働組合の夏期安全強化活動がスタートします。8 月末までの期間中、熱中症発生の防止を重点項目に掲げ、無災害への願いを込めて様々な取り組みを行って参りますが、本年の安全成績は過去 2 年間の同時期と比べて不休以上の災害件数が倍増している危機的状況であり、関西製鉄所は「非常事態宣言取組み」を昨日から展開しているところです。
災害の要因は多種多様であり、効果的な対策を講じていくためには労使･直協による忌憚のない議論が不可欠であると考えます。一方的な視点では必ず盲点があり、職場を支えているすべての労働者が感じている本音をボトムアップしなければなりません。作業者同士が常に声を掛け合い、対話を重ねることです。安全に遠慮は禁物、怪我をした後で何を言っても後の祭りです。そのためには何でも言い合える風通しのよい職場を作らなければなりません。支部役員の皆様には率先して理想の職場づくりにご協力下さい。「議論に上下なし」の観点で真の安全職場を構築して参りましょう。

いずれにしましても、日本製鉄の前年度業績は連結事業利益が 9,164 億円、今年度見通しも実力ベースで 8,000 億円以上を見込むという持続的な成長を遂げています。外部環境に左右されない収益構造の構築によるところが大きい訳ですが、やはり操業･整備に昼夜を問わず頑張ってくれている組合員皆様

の弛まぬ努力が会社を支えていることは間違いなく、今や関西製鉄所は安定した製造拠点として日本製鉄の収益に貢献しているということを中央委員の皆様から職場の組合員へ是非ともお伝え願います。

いよいよ 7 月、梅雨真っただ中で蒸し暑い日が続いており酷暑の到来も間もなくです。１年で最も厳しい職場環境を迎えますが、とにかく和歌山･堺･海南それぞれの地区の組合員におかれましては、自分と仲間の安全と健康を確保するために声を掛け合い、気を配り合い、落ち着いた行動と冷静な判断で毎日の業務に精励頂きますよう、そして組合活動に対する絶大なるご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げ、本委員会での挨拶とさせて頂きます。

ご安全に。

日本製鉄労連「第１２回中央委員会」および「総括討論集会」報告

Ⅰ　第１２回中央委員会

１．日　　時　　２０２３年５月２９日（月）１４時００分～１６時００分

２．開催場所　　ホテルベルクラシック東京

３．出 席 者　　大田執行委員、中野執行委員、本脇支部長、小原支部長　計４名
黒島書記長（中央執行委員の立場で出席）

４．出席中央委員　　中央委員定数５３人　　出席中央委員数５２人　　傍聴２人
【中央委員定数の２／３以上の出席により有効に成立】

５．青雲会長挨拶（要旨）

・２０２２年度の単独粗鋼生産量がピーク時に比べ３割減少する中、抜本的な収益構造対策の継続により２年連続で高水準の収益を確保することができた。
・２０２３年度における世界の鉄鋼需要は現状からの好転が見込めない状況にある。
・ＡＰ２３春季取り組みについては、自動車や電機の多くの組合が満額回答を引き出しており、物価高騰や人材獲得が激化している中、賃上げの転換点になったと受け止める。
・今回の回答が非正規を含む低所得者に広がり、日本経済の成長に繋がればいいが物価と賃金が上がり経済が成長しなければ、日本経済が混乱するだけに来年以降の取り組みが重要となる。
・今回の春季交渉のように、瞬間的に賃金水準を上げるのではなく継続的に全体の賃金を上げていくことが求められている。

６．議　　事

（１）報告事項

①一般経過報告

②特別報告　第６期組織機構・財政検討委員会　答申

（２）審議事項

第１号議案　第７期日本製鉄労働組合連合会役員の定数および中央選挙管理委員会の設置等（案）
第２号議案　第１４回定期大会代議員の選出基準（案）
第３号議案　外部団体への派遣役員立候補者の確認について（案）

【全議案満場一致で可決決定】

Ⅱ　総括討論集会

１．日　　時　　２０２３年５月２９日（月）１７時１５分～３０日（火）１２時００分

※討論集会で出された意見については連合会で集約中です。まとまり次第ＨＰへ掲載いたします。

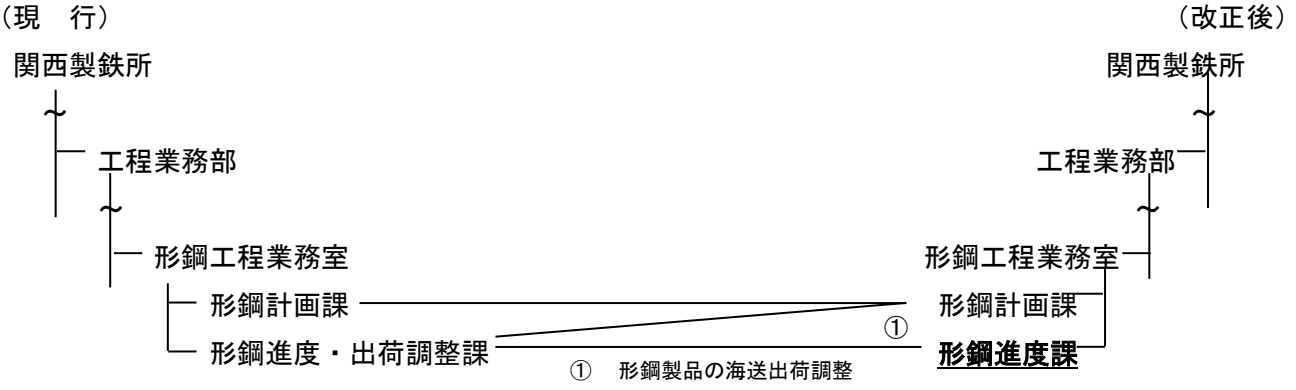
２０２３年度７月１日付組織改正について

１．工程業務部形鋼工程業務室における機能の一部移管について

（１）事案の概要

形鋼製品について、圧延から出荷に至る形鋼工程一貫での工程管理機能の強化を目的として、形鋼製品の海送出荷調整に関する機能を同室形鋼計画課に移管されることになりました。これに伴い、形鋼進度・出荷調整課は「形鋼進度課」に改称されます。

（２）新旧対照表

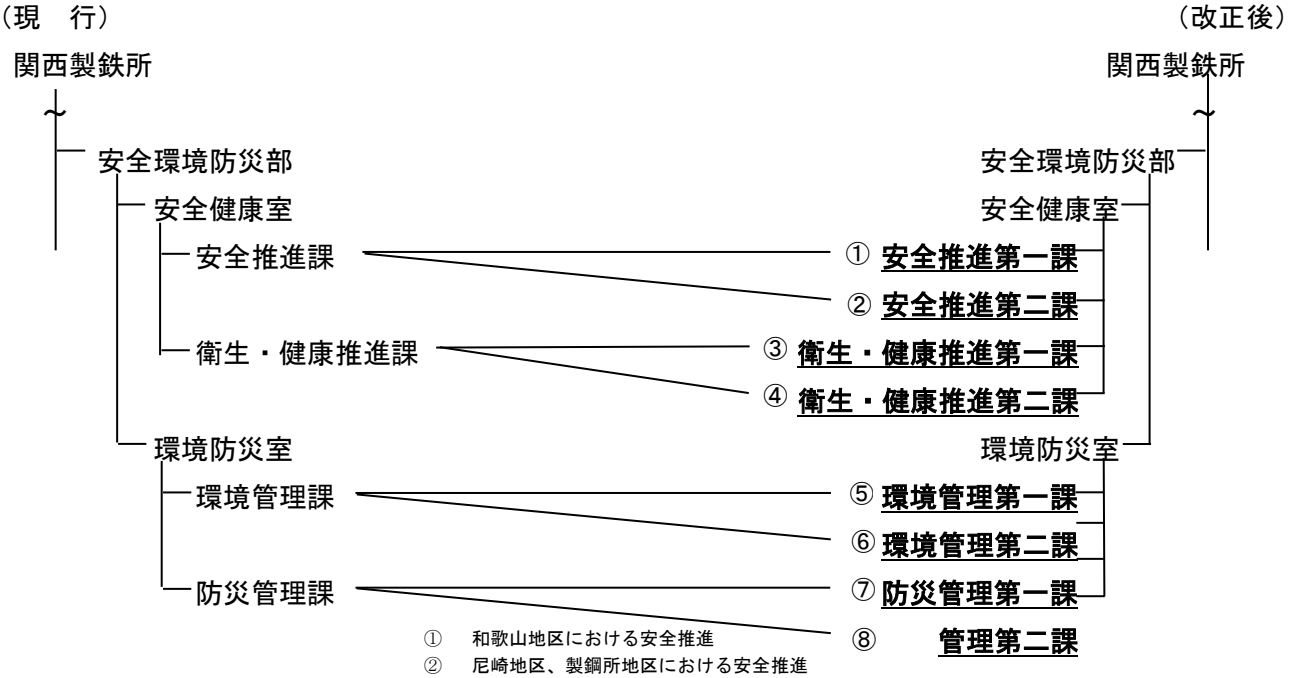


２．関西製鉄所／安全環境防災部における課組織の再編成について

（１）事案の概要

業務運営の最適化および各地区内における初動対応の強化等を目的として地区別に再編成されます。具体的には、和歌山地区における各機能を安全推進第一課、衛生・健康推進第一課、環境管理第一課、防災管理第一課の各課に、尼崎地区および製鋼所地区における各機能を安全推進第二課、衛生・健康推進第二課、環境管理第二課、防災管理第二課の各課に位置付けされます。

（２）新旧対照表



① 和歌山地区における安全推進
② 尼崎地区、製鋼所地区における安全推進
③ 和歌山地区における衛生・健康推進
④ 尼崎地区、製鋼所地区における衛生・健康推進
⑤ 和歌山地区における環境管理
⑥ 尼崎地区、製鋼所地区における環境管理
⑦ 和歌山地区における防災管理
⑧ 尼崎地区、製鋼所地区における防災管理